

別添様式1－(1)

環境保全施設整備計画
【令和3年度～令和7年度】

とちぎけん
栃木県

令和2年3月

別添様式1-(2)目標、計画期間及び整備方針(環境保全施設整備計画)

都道府県名	栃木県	対象地域	日光国立公園(日光地域及び塩原地域)
-------	-----	------	--------------------

計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度
------	-------------------

<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然に触れ楽しく安全に利用するための施設整備を行い、利用の推進を図るものとする。 屋根や外壁など施設を維持する上で重要な部材を中心とした予防保全に取り組み、長寿命化を図るものとする。 橋梁の構造材塗装や木質部材交換、部分的改修を行い、施設の長寿命化を図る。
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>対象地域の現状 日光国立公園の日光地区は、本県第一の観光地域であり、世界遺産である日光の社寺を有していることもあり、近年は特に外国人利用者が増加している。中でも中宮祠地区は、有名な華厳滝と中禅寺湖、男体山という特徴的な自然景観を備えた地域であり、過去には自然公園核心地域総合整備事業により数多くの公園施設の整備を実施してきたが、多くの施設が整備から15年以上経過し、老朽化が進んでいる。 また、同公園の那須甲子・塩原地区は、古くから温泉地として発展した観光地であり、渓谷が作り出す優れた自然景観を有している。渓谷を探勝する歩道を長年に渡り整備しており、多くの吊橋が架橋されているが、これらの多くについて老朽化が進んでいる。</p> <p>課題 工事の際使用する資材等については、可能な限り現状を復元するものとしたい。工事の実施にあたっては、県外からのバスツアー企画・マスコミ取材等人気の高い施設であることから、事前の周知と工事期間中の利用制限については配慮する必要がある。 特に、東京オリンピック(R3)により来訪者の増加が見込まれることから、慎重に対応する必要がある。</p>

長寿命化対策の整備方針と期待する効果	方針に沿った主要な事業	長寿命化計画名(策定年度又は策定予定年度)
<p>長寿命計画に基づき下記の整備方針とする</p> <p>【対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防保全型管理によってライフサイクルコストの縮減が見込まれる施設を対象に長寿命化する。 <p>【対策の優先】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急度「高」「中」の施設を優先的に対策する。ただし、現在は健全である施設についても施設の劣化や損傷が軽微な段階で修繕を実施し、効果的な機能の維持回復と対象施設の長期的な機能の発揮を目指す。 <p>【健全度調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的に5年に1回健全度調査を実施し、施設の点検・診断を行うと共に、計画を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 中宮祠園地(観瀑台修繕工事) 那須高原道路(吊り橋改修工事) 	<p>長寿命化計画名:自然公園等施設長寿命化計画 (R2策定) なお、個別施設計画については、計画期間をR2~R11とした。</p>

目標を定量化する指標		定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
指標	単位					基準年度	目標年度
日光自然博物館の来館者数	人/年	県立日光自然博物館の来館者数	施設からの報告	当事業の整備効果に伴う日光国立公園利用者の変動を日光自然博物館の来館者数で把握	78,216	R1	61,100 R5
那須高原ビジターセンターの来館者数	人/年	環境省那須高原ビジターセンターの来館者数	施設からの情報提供	当事業の整備効果に伴う日光国立公園利用者の変動を那須高原ビジターセンターの来館者数で把握	24,391	H30	27,000 R6
自然公園施設での利用者事故	件/年	栃木県管理の自然公園施設での利用者の事故の件数	栃木県で把握	施設利用者の事故件数の変動により整備効果を把握	5	H30	3 R6

その他必要な事項
